災　害　の　概　況

（平成　23　年　上半期）

鳥取県西部広域行政管理組合
消　防　局

目　　次

（ページ数）

災害概況のまとめ …… 1

Ⅰ．火災概況 …… 2

１．火災の状況 …… 2

２．火災原因 …… 3

３．死者・負傷者 …… 3

別図Ⅰ－　１　火災件数の推移 …… 3

別図Ⅰ－　２　火災種別ごとの件数と構成比率 …… 3

別図Ⅰ－　３　月別の火災件数 …… 4

別図Ⅰ－　４　市町村別火災件数の構成比率 …… 4

別図Ⅰ－　５　経過別死者発生状況 …… 5

別図Ⅰ－　６　経過別負傷者発生状況 …… 5

別表Ⅰ－　１　平成２３年上半期の火災概況 …… 6

別表Ⅰ－　２　月別火災発生状況 …… 7

別表Ⅰ－　３　市町村別火災状況 …… 8

別表Ⅰ－　４　原因別火災発生状況 …… 9

Ⅱ．救急概況 …… 10

１．救急出動状況、救急搬送状況 …… 10

２．市町村別救急活動状況 …… 10

３．傷病程度別搬送状況 …… 10

４．年齢別搬送状況 …… 10

５．署所別救急活動状況 …… 10

６．月別救急活動状況 …… 10

７．現場到着所要時間、収容所要時間 …… 10

８．応急手当実施状況 …… 10

９．高度救命処置件数 …… 10

１０．医師引継ぎ時の状況 …… 10

別図Ⅱ－　１　事故種別救急出動状況 …… 11

別図Ⅱ－　２　事故種別救急搬送状況 …… 11

別図Ⅱ－　３　過去５年間の救急推移 …… 12

別図Ⅱ－　４　市町村別救急活動状況 …… 12

別図Ⅱ－　５　傷病程度別搬送状況 …… 13

別図Ⅱ－　６　年齢別搬送状況 …… 13

別図Ⅱ－　７　署所別救急活動状況 …… 14

別図Ⅱ－　８　月別救急活動状況 …… 14

別図Ⅱ－　９　現場到着所要時間 …… 15

別図Ⅱ－１０　収容所要時間 …… 15

別図Ⅱ－１１　応急手当実施状況 …… 16

別図Ⅱ－１２　高度救命処置件数 …… 16

別図Ⅱ－１３　医師引き継ぎ時の状況 …… 16

Ⅲ．救助概況 …… 17
１．事故種別救助出動状況 …… 17
２．事故種別救助活動状況 …… 17
３．事故種別救助人員状況 …… 17
４．管轄別救助活動状況 …… 17
５．市町村別救助活動状況 …… 17
別図Ⅲ－　１　事故種別救助出場状況 …… 17
別図Ⅲ－　２　事故種別救助活動状況 …… 18
別図Ⅲ－　３　事故種別救助人員状況 …… 18
別図Ⅲ－　４　管轄別救助活動状況 …… 19
別図Ⅲ－　５　市町村別救助活動状況 …… 19

Ⅳ．１１９番着信状況 …… 20
１．概況 …… 20
２．月別の着信状況 …… 20
３．電話種別による通報状況 …… 20
４．携帯電話からの着信状況 …… 20
５．時間帯別１１９番通報の着信状況 …… 21
別表Ⅱ－　１　１１９番着信件数の推移 …… 21
別表Ⅱ－　２　月別１１９番着信状況 …… 21
別表Ⅱ－　３　電話種別による１１９番着信件数の推移 …… 21
別表Ⅱ－　４　電話種別の通報状況 …… 22
別表Ⅱ－　５　携帯電話からの着信状況 …… 22
別表Ⅱ－　６　携帯電話の消防機関別転送状況 …… 22
別図Ⅳ－　１　通報内容別着信状況 …… 23
別図Ⅳ－　２　月別着信状況 …… 23
別図Ⅳ－　３　固定電話、携帯電話、ＩＰ電話からの着信比率 …… 24
別図Ⅳ－　４　災害別の固定電話、携帯電話からの着信比率 …… 24
別図Ⅳ－　５　時間帯別着信状況 …… 24

災害概況のまとめ　　（平成２３年１月から６月）

Ⅰ　火災概況

本年上半期の火災件数は５８件で、前年に比べ１７件多くなっています。
これは、建物火災が６件、林野火災が１件、車両火災が５件、その他火災（枯れ草火災などの火災）が５件、増加したことによるものです。

建物火災の増加で、焼損棟数、罹災世帯数とも昨年に比べ増加しています。建物火災が増加したにも関わらず、焼損面積が減少した要因としては、大規模な工場火災等が無かったことによるものと考えます。また、損害額が増加した要因としては、建物火災と車両火災の増加によるものです。

火災原因については、「放火（疑いを含む)」が８件と最も多く、次いで「たばこ」が６件となっています。

火災による死者は７人で、発生要因としては「逃げ遅れ」によるものが５人となっています。

負傷者は前年に比べ１人少ない９人となっており、約７割の方が消火しようとした際に負傷されています。死者、負傷者ともに６５歳以上の高齢者の割合が高く、今後の高齢化の進展とともに、さらに増加していく恐れがあります。

本年６月から、全ての家庭に住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、死傷者の発生を防止する為にも、引き続き設置促進活動を含めた住宅防火対策の推進が重要と考えます。

Ⅱ　救急概況

救急出動件数は４，８１４件で前年に比べ５７９件、救急搬送人員は４，４９５人で４８０人の増加となっています。

事故種別で見ますと、急病が半数以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

年齢別で見ますと、６５歳以上の高齢者が搬送される割合が年々増加しています。今後、少子高齢化に伴い更に高齢者が占める割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対しての応急手当の割合が微増しています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大します。

Ⅲ　救助概要

救助出動件数は７４件で前年に比べ３件の増加、救助活動件数は５５件で前年に比べ２件増加しています。

救助人員は３８人で前年に比べ９人減少し、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く１８人となっています。

全国的に風水害、地震、列車事故などの災害規模が大規模化することに伴い、県内や県外の消防、医療、防災機関、行政などの迅速な連携活動が必要不可欠となっています。

Ⅳ　１１９番着信状況

１１９番の総着信件数は６，８６７件で昨年上半期より８７５件多くなっております。

事故種別ごとに占める割合を見ますと、それぞれ火災通報１６１件で７１件増、救急通報４，６４７件で５４８件増、救助通報２０件で６件減、警戒通報は３２件で２件減、問い合わせ７５１件で２２４件増、悪戯１００件で４０件増、間違い３５７件で１件減、訓練７９９件で１件減でした。総着信件数から問い合わせ、悪戯、間違い、訓練などを除く災害通報は４，８６０件でした。総着信件数が大幅に増加したのは、昨年大晦日から正月三箇日にかけ鳥取県西部を襲った豪雪が影響しています。

Ⅰ　火災概況

（平成２３年上半期　１月～６月）

１　火災の状況

（１）　火災件数

平成２３年上半期の火災件数は５８件で、前年に比べ１７件（４１％）多くなっています。

年別	１９年	２０年	２１年	２２年	２３年
火災件数	７０件	４８件	６３件	４１件	５８件

（別表Ⅰ－１・別図Ⅰ－１参照）

（２）　火災種別

種別の構成比率をみますと、建物火災が全体の５９％と最も高い比率を占め、次いで、その他火災（枯れ草火災など）２２％、車両火災の１６％と続いています。

前年に比べ建物火災は６件、その他火災（枯れ草火災など）は５件多くなっています。

（別表Ⅰ－１・別図Ⅰ－２参照）

（３）　月別

月別の火災件数をみますと、３月が１５件（２６％）で最も多く、次いで４月・５月の１１件（１９％）、２月の１０件（１７％）となっています。最も少なかったのは６月の３件（５％）です。

火災種別ごとの状況は、建物火災については３月に最も多く（１０件）発生しています。（別表Ⅰ－２・別図Ⅰ－３参照）

（４）　市町村別

市町村別の火災件数をみますと、市部（米子市、境港市）で全体の６９％を占めています。（別表Ⅰ－３・別図Ⅰ－４参照）

（５）　損害額

損害額は、約１５，８０７万円で、前年（１３，６８１万円）に比べ２，１２６万円（＋１５．５％）多くなっています。

火災種別ごとの損害額をみますと、建物火災が全体の９７％以上を占めています。

月別の損害額は、５月（６，５９６万円）が最も多く全体の４２％となっています。これは、損害が多い建物火災が発生した為です。次いで３月（３，０８６万円）の２０％となっています。

（別表Ⅰ－１・別表Ⅰ－２参照）

２　火災原因

原因別では、「放火（放火疑い含む)」が８件（１４％）で最も多く、次いで「たばこ」６件（１０％)、「火入れ」５件（(９％)、「火遊び」・「たき火」３件（５％）となっています。

（別表Ｉ－４参照）

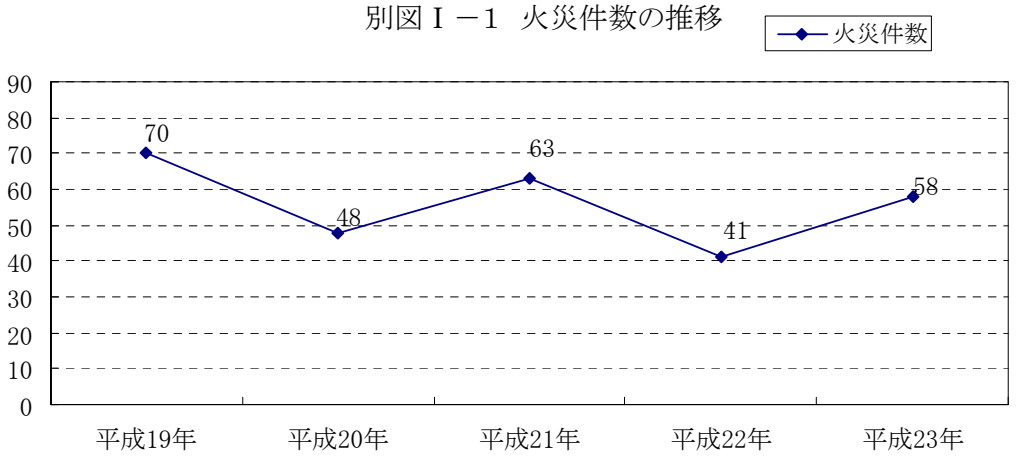
３　死者・負傷者

死者は前年同期１人でしたが、今年は６人多い、７人（＋６００％）と大幅に増加しました。そのうち５人は「逃げ遅れ」によるものです。

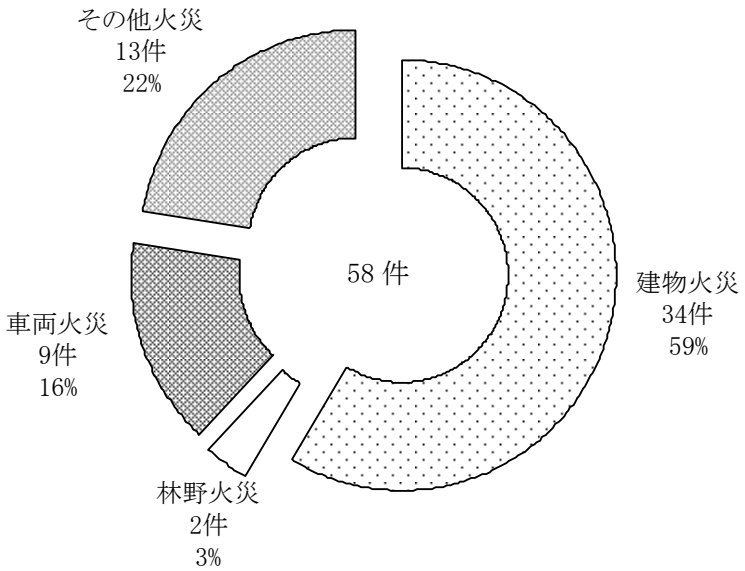
また、負傷者は前年より１人少なく９人（－１０％）となっています。

（別表Ｉ－１．別図Ｉ－５．別図Ｉ－６参照）

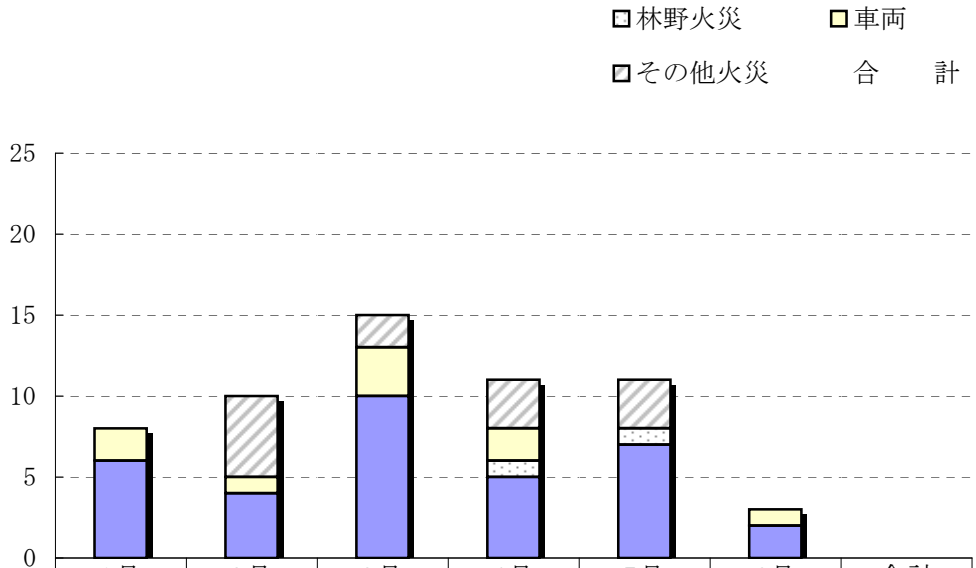
別図Ｉ－１　火災件数の推移



別図Ｉ－２　火災種別ごとの件数と構成比率

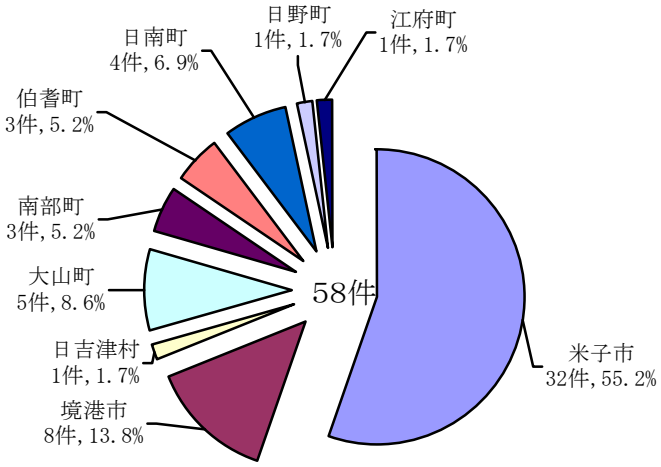


別図Ｉ－３　月別の火災件数

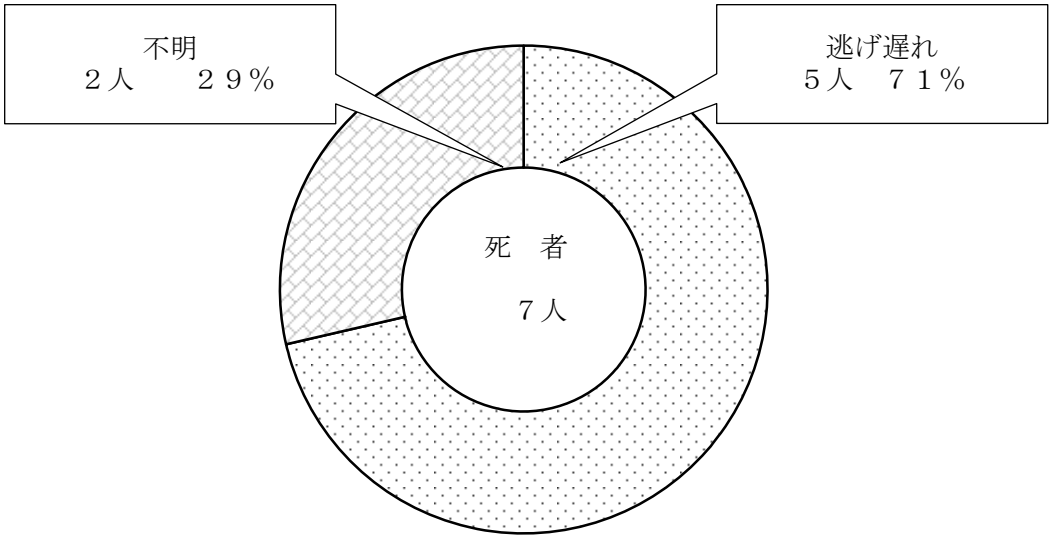


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
合　計	8	10	15	11	11	3	58
その他火災		5	2	3	3		13
車両	2	1	3	2		1	9
林野火災				1	1		2
建物火災	6	4	10	5	7	2	34

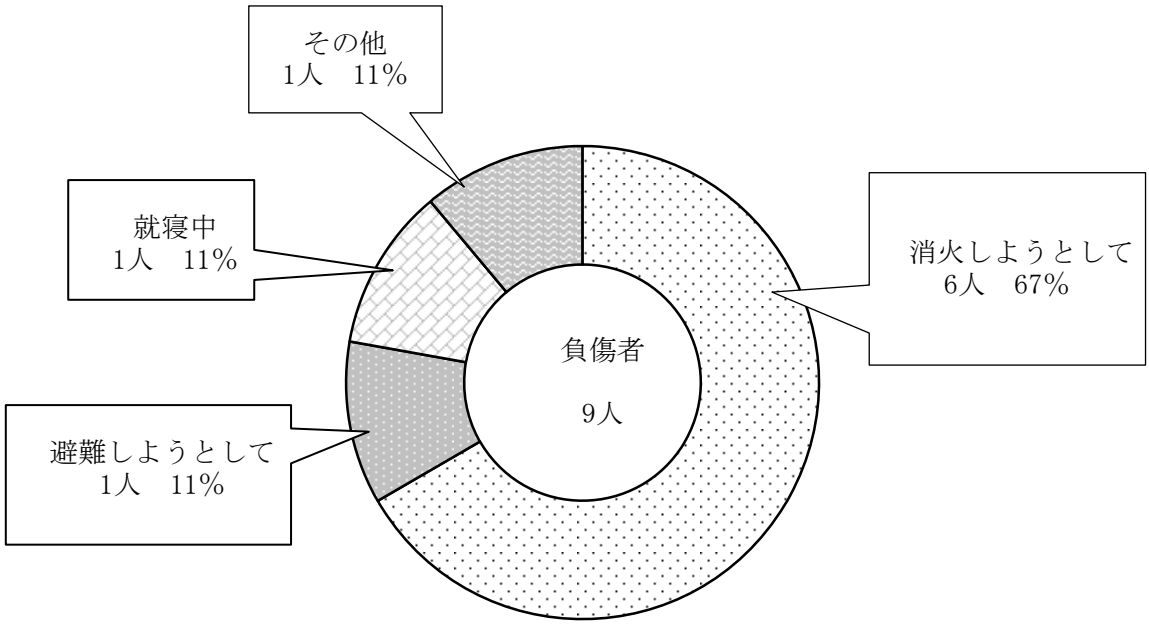
別図Ｉ－４　市町村別火災件数の構成比率



別図Ｉ－５　経過別死者発生状況



別図Ｉ－６　経過別負傷者発生状況



別表Ｉ－１　平成２３年上半期の火災概況

区分		平成２３年 A	平成２２年 B	増減 C（A－B）	増減率 C／B％
火災件数（件）		５８（ 100%）	４１（ 100%）	１７	41%
建物火災		３４（ 59%）	２８（ 68%）	6	21%
林野火災		２（ 3%）	１（ 2%）	1	100%
車両火災		９（ 16%）	４（ 10%）	5	125%
船舶火災		（ ）	（ ）		－
その他火災		１３（ 22%）	８（ 20%）	5	63%
焼損棟数（棟）		６２（ 100%）	４９（ 100%）	１３	27%
全焼		１９（ 31%）	１３（ 27%）	6	46%
半焼		８（ 13%）	２（ 4%）	6	300%
部分焼		２２（ 35%）	１４（ 29%）	8	57%
ぼや		１３（ 21%）	２０（ 40%）	－7	−35%
罹災世帯数（世帯）		３１（ 100%）	２０（ 100%）	１１	55%
全損		８（ 26%）	７（ 35%）	1	14%
半損		５（ 16%）	０（ ）	5	500%
小損		１８（ 58%）	１３（ 65%）	5	38%
罹災人員（人）		９１	５０	４１	82%
焼損面積	建物（㎡）	３，５８８	５，１５８	－１，５７０	−30%
	林野（ａ）	１９	７	１２	171%
損害額（千円）		１５８，０７１	１３６，８１４	２１，２５７	16%
建物火災		１５３，７２１	１３４，９３６	１８，７８５	14%
林野火災		４６２	１５	４４７	2980%
車両火災		３，８３９	１，８５９	１，９８０	107%
船舶火災					－
その他火災		４９	４	４５	1125%
１件当りり損害額（千円）	火災全体	２，７２５	９６９	１，７５６	181%
	建物火災	４，５２１	１，５９４	２，９２７	184%
１件当り損害面積	建物（㎡）	１０６	１８４	－７９	−43%
	林野（ａ）	１０	７	３	36%
死者（人）		7	1	6	600%
負傷者（人）		9	１０	－1	−10%

備考　（　　）内は構成比を示す。

別表Ⅰ－２　月別火災発生状況

	合計		建物火災			焼損棟数					り災世帯					林野火災			車両火災		その他火災		死者	負傷者	
	件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）	焼損面積 ㎡	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損	り災人員	件数	損害額（千円）	焼損面積 a	件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）			30日以内死亡
1月	8	30,010	6	29,907	629	12	4	4	4		8	3	3	2	28				2	103			3	3	
2月	10	5,432	4	2,828	168	6	2		4		2	1		1	4				1	2,560	5	44		1	
3月	15	30,869	10	30,527	1077	25	8	1	9	7	14	3		11	34				3	342	2		2	3	
4月	11	23,006	5	22,212	747	8	4	1	2	1	1	1			2	1		3	2	789	3	5			
5月	11	65,963	7	65,501	852	8		2	2	4	5		2	3	18	1	462	16			3		1	2	
6月	3	2,791	2	2,746	115	3	1		1	1	1			1	5				1	45			1		
合計	58	158,071	34	153,721	3,588	62	19	8	22	13	31	8	5	18	91	2	462	19	9	3,839	13	49	7	9	0

別表Ⅰ－3　市町村別火災発生状況

	火災件数						焼損面積			焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死者	負傷者		損害額
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	林野 a	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損				30日以内死亡	（千円）
米子市	32	23		2		7	1,620	64		45	13	6	15	11	24	7	4	13	66	5	8		59,765
境港市	8	4		2		2	121	1		4		1	3		2		1	1	7	1			2,013
日吉津村	1			1																			69
大山町	5	1		3		1	274	38		5	2		3		2	1		1	7	1			17,228
南部町	3	1	1			1	386		16	1	1												4,521
伯耆町	3	1		1		1	164	5		3	1			2	2			2	6				3,716
日南町	4	3				1	908	5		3	1	1	1		1			1	5		1		68,018
日野町	1		1						3														
江府町	1	1					115			1	1												2,741
合計	58	34	2	9		13	3,588	113	19	62	19	8	22	13	31	8	5	18	91	7	9		158,071

別表Ⅰ－4　原因別火災発生状況

原因別	火災件数							損害額（千円）	死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	死者	負傷者
合計	58	34	2	9			13	158,071	7	9
たばこ	6	4		1			1	5,346	1	2
こんろ	2	2						26		1
かまど										
風呂かまど										
炉										
焼却炉										
ストーブ	1	1						6,376		
こたつ										
ボイラー	1	1						102		
煙突・煙道										
排気管	1			1				30		
電気機器	1			1				200		
電気装置										
電灯・電話等の配線	2	2						53		
内燃機関										
配線器具	2	2						19,848	1	2
火あそび	3	1					2	3,643		
マッチ・ライター	2		1	1				462		
たき火	3	2	1					148		
溶接機・切断機	1	1						3,000		
灯火										
衝突の火花										
取灰										
火入れ	5						5			
放火	4	1		1			2	559	2	1
放火の疑い	4	3					1	1,318		
その他	7	4		2			1	4,372		
不明・調査中	13	10		2			1	112,588	3	3

救急概況

（平成２３年上半期　１月～６月）

１　救急出動状況、救急搬送状況

平成２３年上半期の救急出動件数及び救急搬送人員は、それぞれ４，８１４件、４，４９５人であり、前年同期と比べて救急出動件数は５７９件（＋１２％）、救急搬送人員は４８０名（＋１０．７％）の増加となりました。　（別図Ⅱ－１，Ⅱ－２，Ⅱ－３参照）

２　市町村別救急活動状況

市町村別では、米子市の救急出動件数及び救急搬送人員がそれぞれ２，８２４件(５８．７％)、２，６０５人（５８．０％）と半数以上を占めています。　（別図Ⅱ－４参照）

３　傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員を見ると、中等症が２，２２９人（４９．６％）で最も多く、次いで軽症が１，５４４人（３４．３％）、重症６２６人（１３．９％）、死亡９０人（２．０％）となっています。　（別図Ⅱ－５参照）

４　年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員のうち、６５歳以上の高齢者は２，６６９人（５９．４％）で搬送人員の６割近くを占めています。　（別図Ⅱ－６参照）

５　署所別救急活動状況

署所別の救急出動件数、救急搬送人員ともに米子市を管轄する米子消防署(１，６８９件１，５３２人)、皆生出張所(７３２件、６９２人)で約半数を占めています。　（別図Ⅱ－７参照）

６　月別救急活動状況

月別の救急出動件数を見ると、１月の９９１件（２０．６％）が最も多く、次いで３月、５月となっています。　（別図Ⅱ－８参照）

７　現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は８分６秒、平均収容所要時間は３７分６秒であり、前年同期と比べて平均現場到着所要時間は３９秒延長、平均収容所要時間は１分５３秒延長しています。

（別図Ⅱ－９，Ⅱ－１０参照）

８　応急手当実施状況

家族等により応急手当が実施された件数は、４９．０％となりました。

（別図Ⅱ－１１参照）

９　高度救命処置件数

気管挿管、薬剤投与が行なえる認定救急救命士の増加により、処置件数も増加しています。

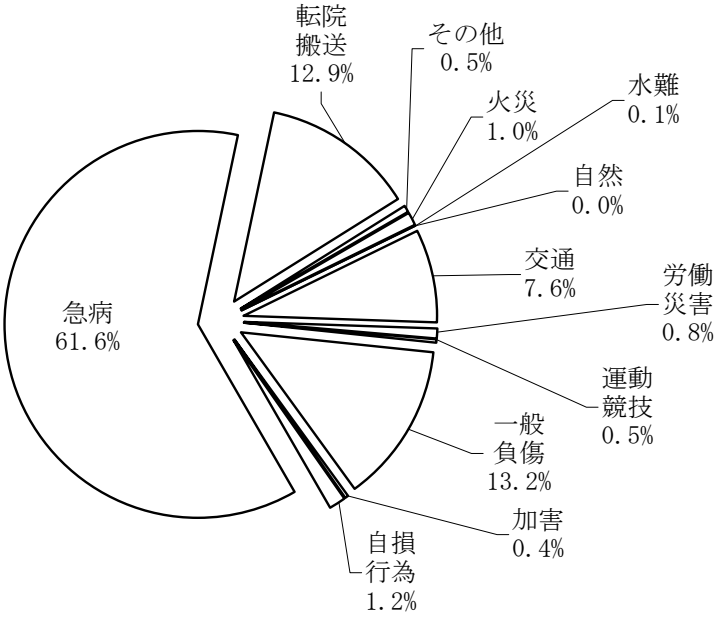
（別図Ⅱ－１２参照）

１０　医師引継ぎ時の状況

心肺停止傷病者を救急車で搬送中に１１名の方が回復しています。

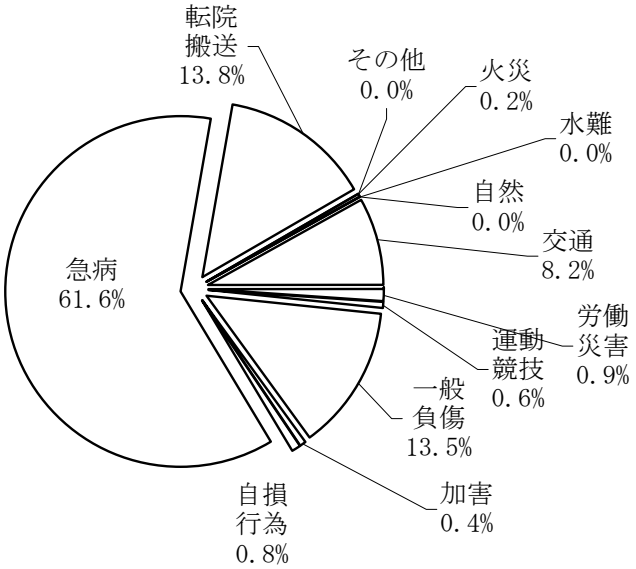
（別図Ⅱ－１３参照）

別図Ⅱ－１　事故種別救急出動状況



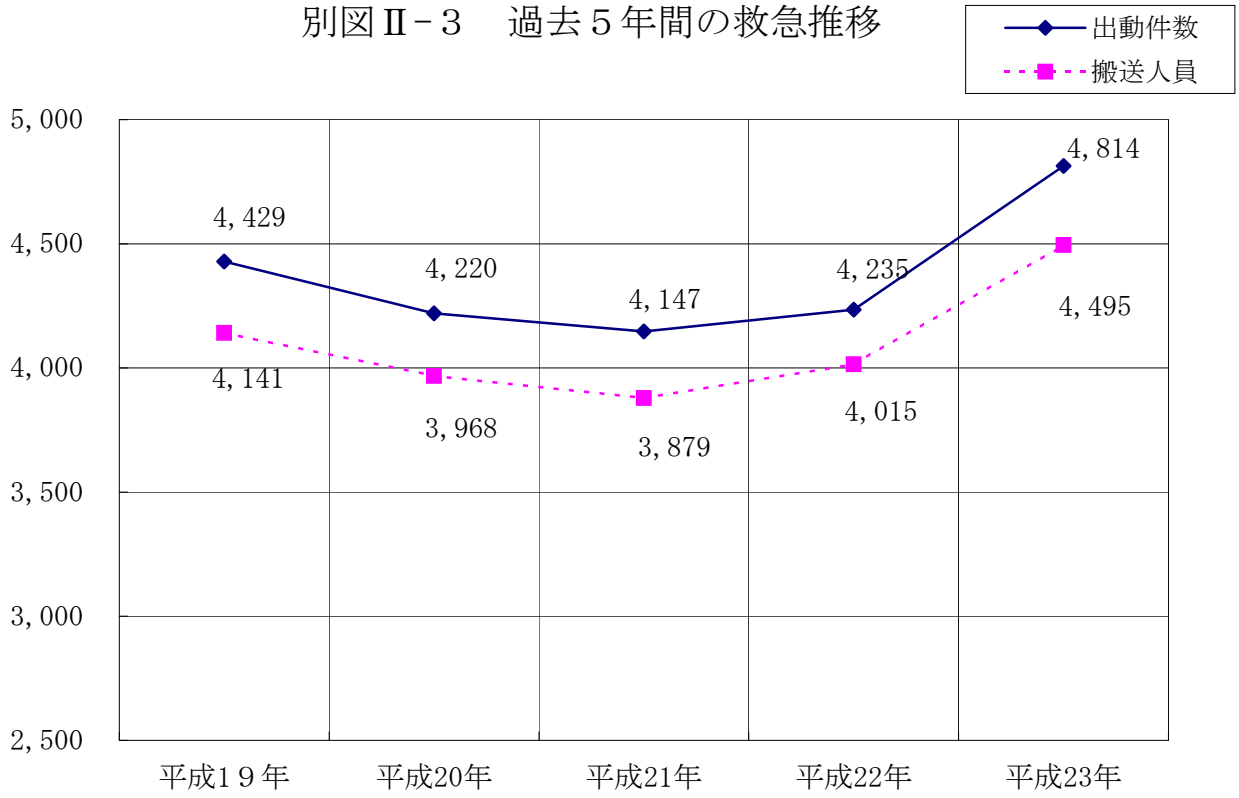
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出場件数	50	1	5	366	40	24	637	17	60	2,966	622	26	4,814

別図Ⅱ－２　事故種別救急搬送状況

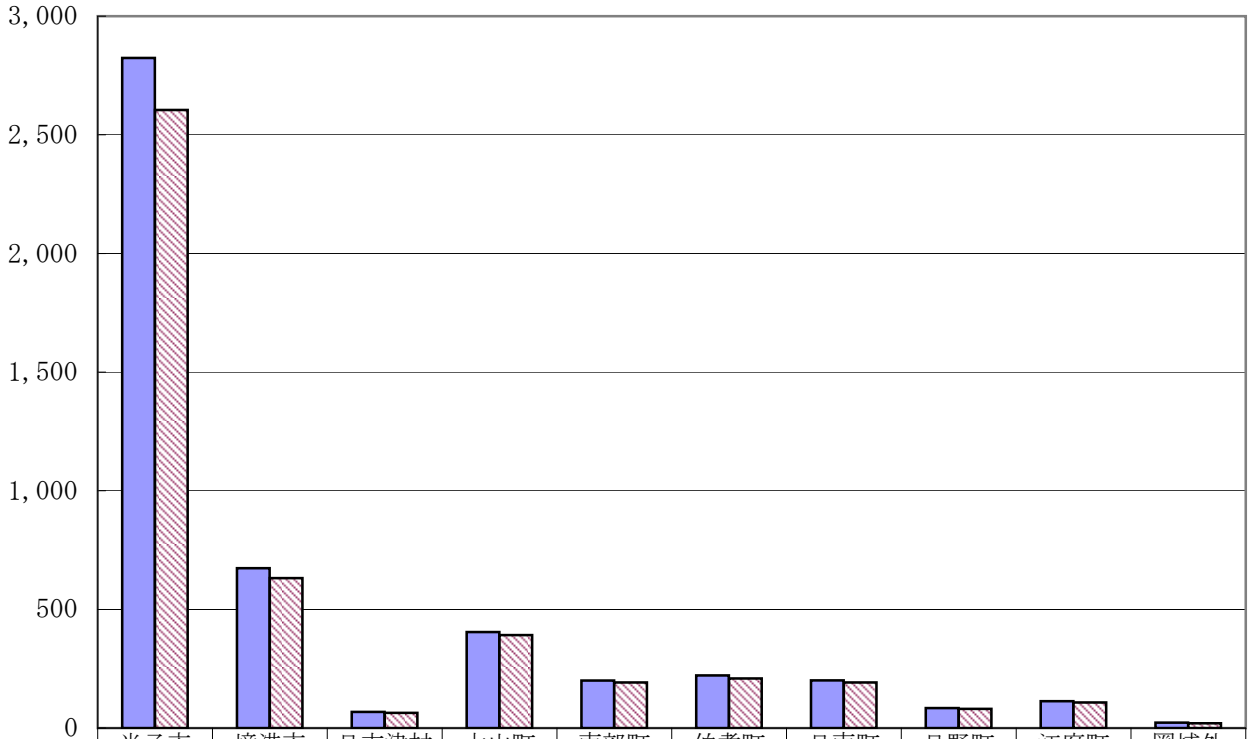


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	8	0	2	368	42	25	608	17	37	2,768	620	0	4,495

別図Ⅱ－３　過去５年間の救急推移

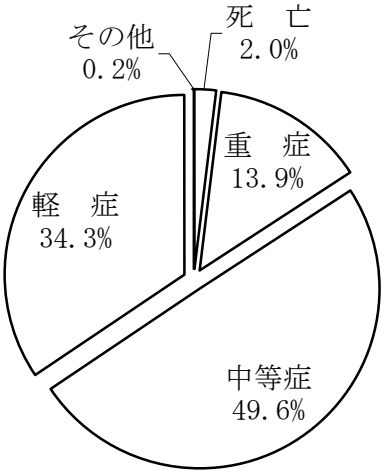


別図Ⅱ－４　市町村別救急活動状況



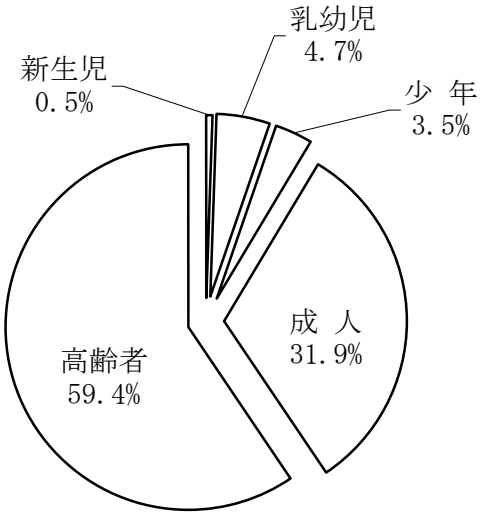
	米子市	境港市	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	圏域外
出動件数	2,824	674	68	405	200	222	201	84	113	23
搬送人員	2,605	632	64	392	192	209	192	81	108	20

別図Ⅱ－５　傷病程度別搬送状況



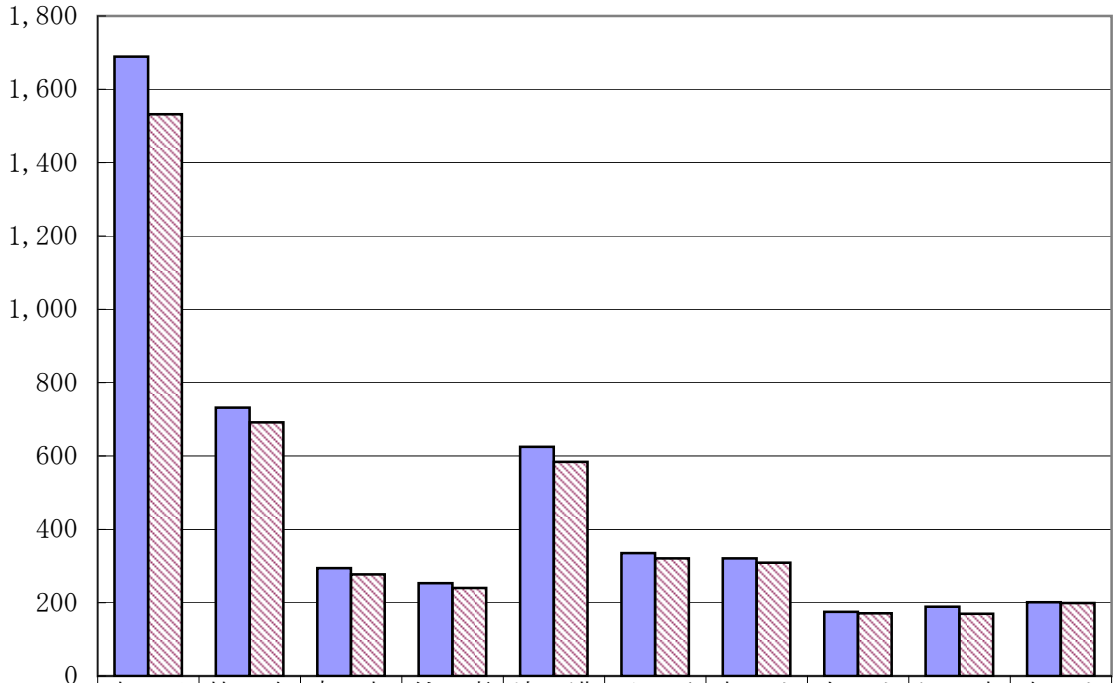
程　　度	死　亡	重　症	中等症	軽　症	その他	合　計
搬送人員	90	626	2,229	1,544	6	4,495

別図Ⅱ－６　年齢別搬送状況



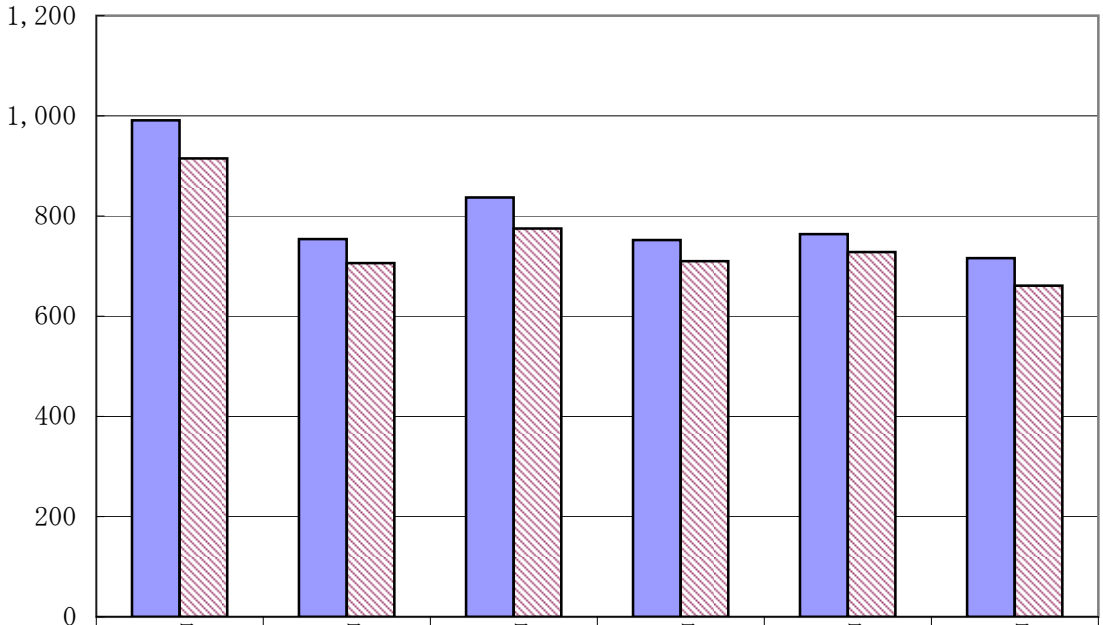
	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
搬送人員	22	212	157	1,435	2,669	4,495

別図Ⅱ－７　署所別救急活動状況



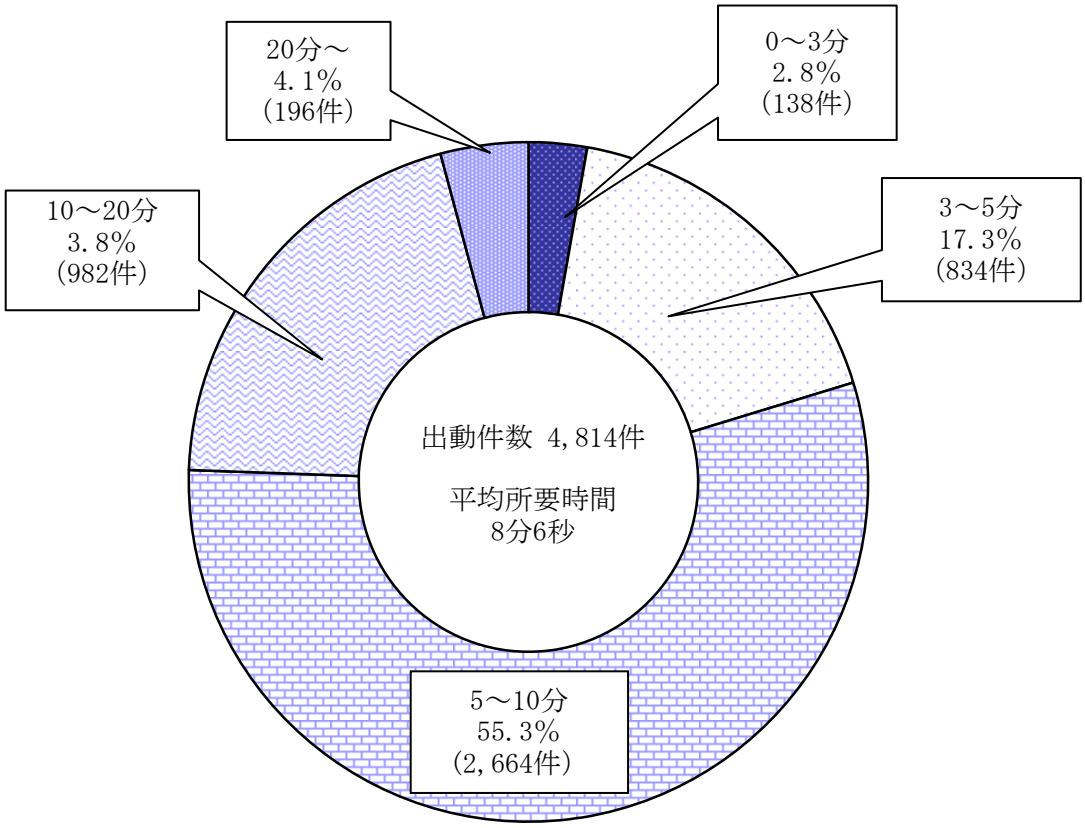
	米子消防署	皆生出張所	南部出張所	伯耆出張所	境港消防署	弓浜出張所	大山消防署	中山出張所	江府消防署	生山出張所
出動件数	1,689	732	294	253	625	335	321	175	189	201
搬送人員	1,532	692	277	240	584	321	309	171	170	199

別図Ⅱ－８　月別救急活動状況

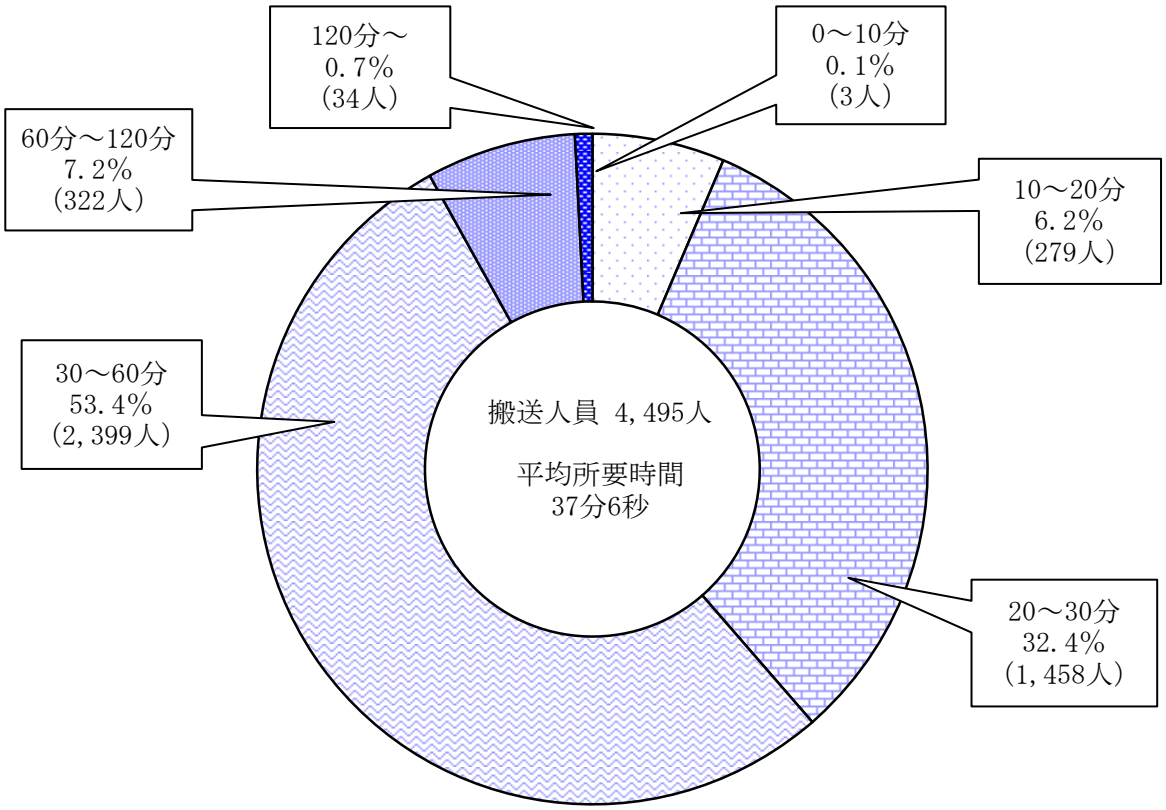


	1月	2月	3月	4月	5月	6月
出動件数	991	754	837	752	764	716
搬送人員	915	706	775	710	728	661

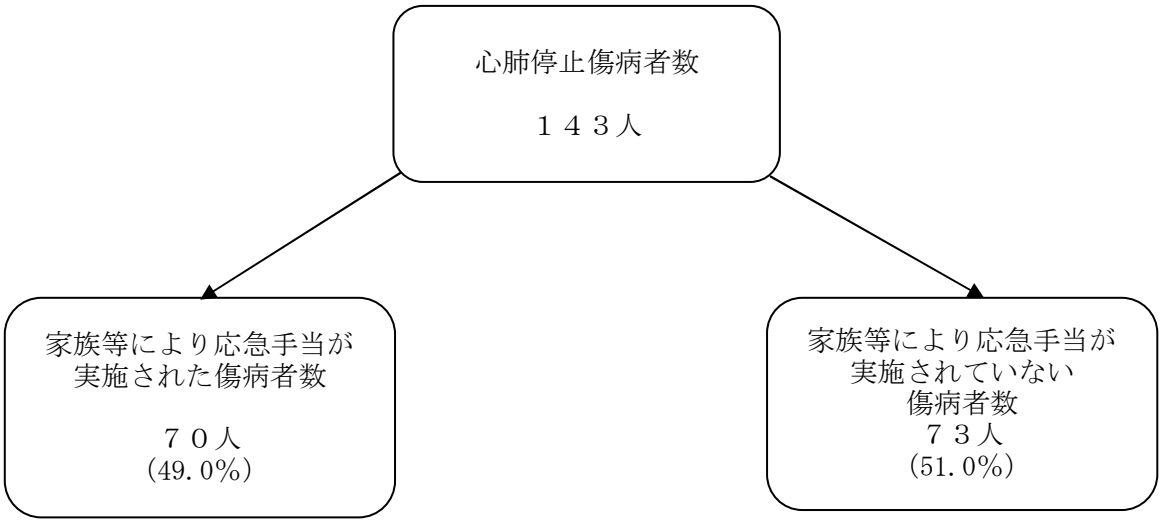
別図Ⅱ－９　現場到着所要時間



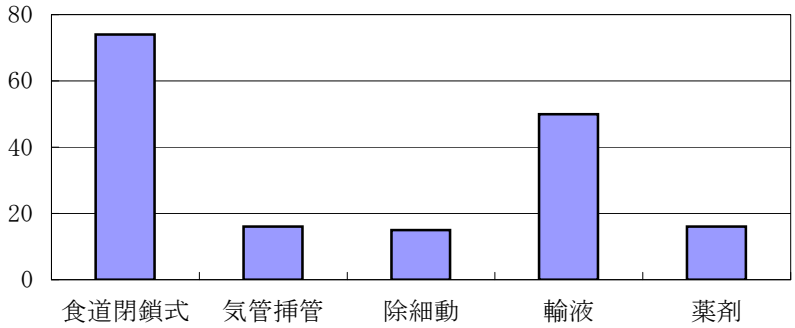
別図Ⅱ－１０　収容所要時間



別図Ⅱ－１１　応急手当実施状況

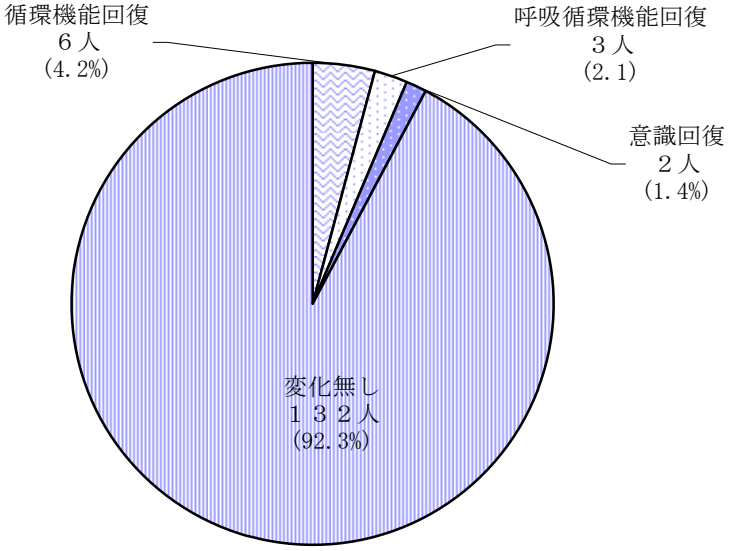


別図Ⅱ－１２　高度救命処置件数



	食道閉鎖式	気管挿管	除細動	輸液	薬剤
実施件数	74	16	15	50	16
割合（%）	52	11	10	35	11

別図Ⅱ－１３　医師引き継ぎ時の状況



Ⅲ　救助概況

（平成２３年上半期　１月～６月）

１　事故種別救助出動状況

救助出場件数は７４件あり、そのうち火災が２６件（３５．１%)）と最も多く、交通事故が２５件（３３．８％)、水難事故が４件（５．４％)、風水害事故が４件（５．４％）建物事故が４件（５．４％)、機械事故が３件（４．１％）その他の事故が８件（１０．８％）となっています。

（別図Ⅲ－１参照）

２　事故種別救助活動状況

救助活動件数は５５件あり、そのうち火災が２６件（４７．３％）と最も多く、交通事故が１７件（３０．９％)、機械事故が２件（３．６％)、建物事故が２件（３．６％)、水難事故が１件（１．８％)、風水害事故が１件（１．８％）その他の事故が６件（１０．９％）となっています。

（別図Ⅲ－2 参照）

３　事故種別救助人員状況

救助された人員は３８人あり、そのうち交通事故が１８人（４７．４％）と最も多く、火災が５人（１３．２％)、機械事故が２人（５．３％)、建物事故が２人（５．３％)、水難事故が１人（２．６％)、風水害事故が１人（２．６％）その他の事故が９人（２３．７％）となっています。

（別図Ⅲ－3 参照）

４　管轄別救助活動状況

事故が発生した場所を消防署の管轄別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員とも米子消防署が最も多く、次いで境港、江府、大山消防署の順となっています。

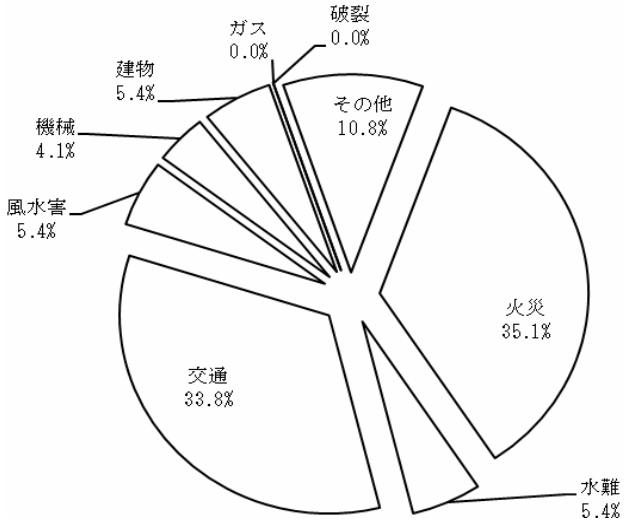
（別図Ⅲ―４参照）

５　市町村別救助活動状況

事故が発生した場所を市町村別で比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く、次いで境港市、大山町、伯耆町の順となっています。

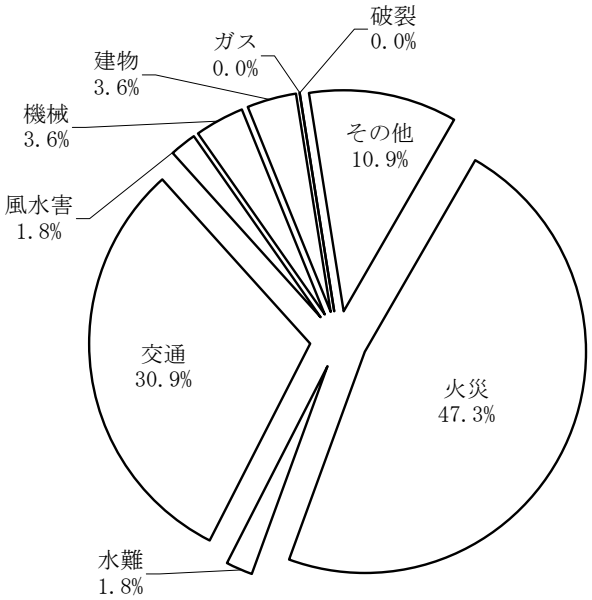
（別図Ⅲ－5 参照）

別図Ⅲ－１　事故種別救助出場状況



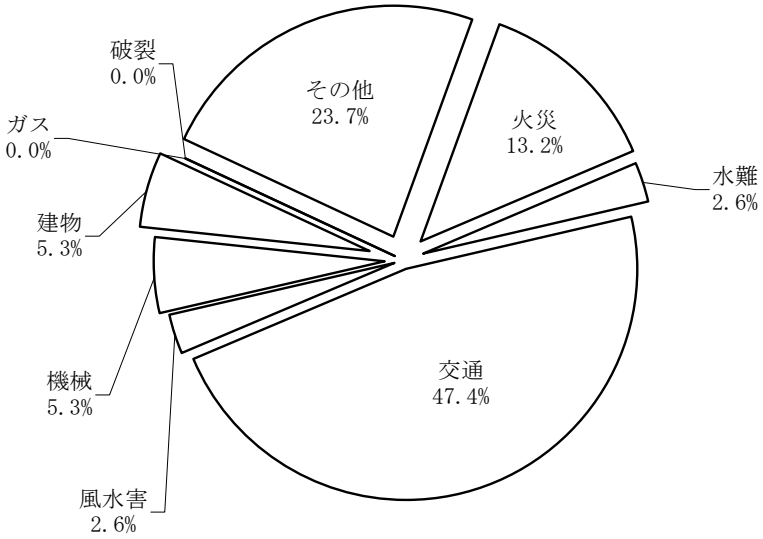
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	26	4	25	4	3	4	0	0	8	74

別図Ⅲ－２　事故種別救助活動状況



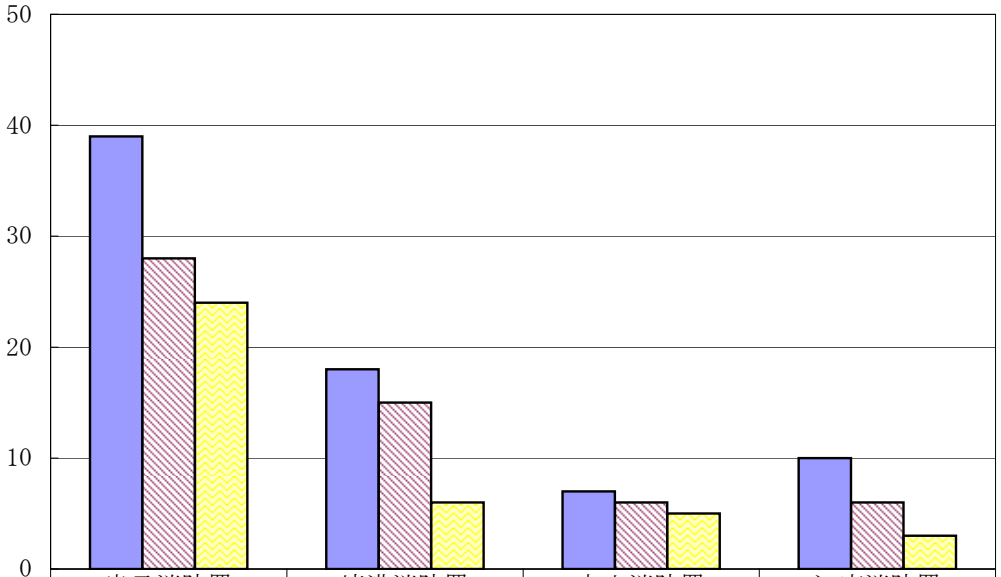
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	26	1	17	1	2	2	0	0	6	55

別図Ⅲ－３　事故種別救助人員状況



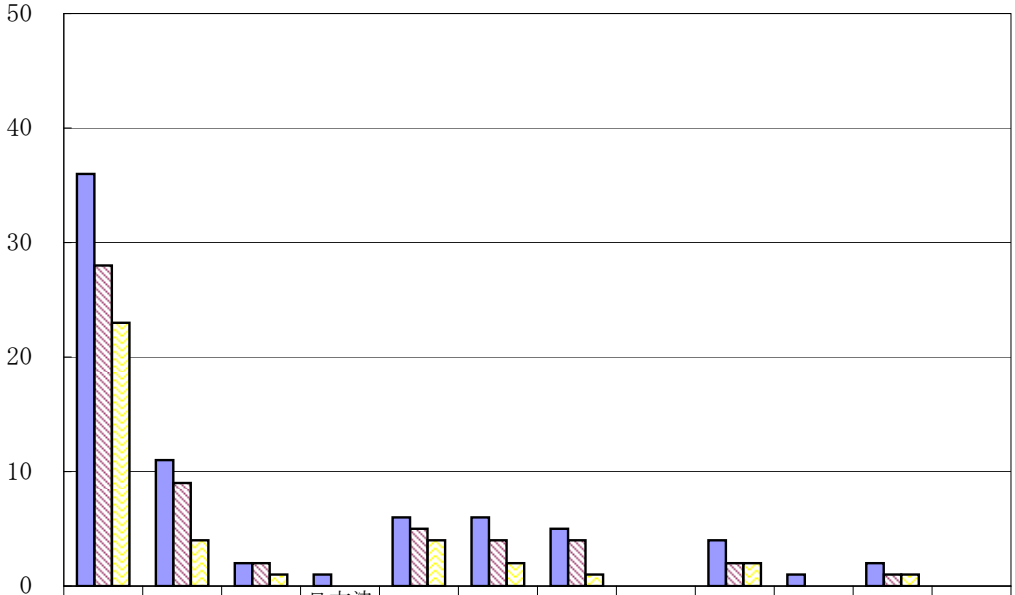
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	1	18	1	2	2	0	0	9	38

別図Ⅲ－４　管轄別救助活動状況



	米子消防署	境港消防署	大山消防署	江府消防署
出動件数	39	18	7	10
活動件数	28	15	6	6
救助人員	24	6	5	3

別図Ⅲ－５　市町村別救助活動状況



	米子市	境港市	南部町	日吉津村	大山町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	米子道	山陰道	管外
出動件数	36	11	2	1	6	6	5	0	4	1	2	0
活動件数	28	9	2	0	5	4	4	0	2	0	1	0
救助人員	23	4	1	0	4	2	1	0	2	0	1	0

Ⅳ．１１９番着信状況　　（平成２３年１月～６月）

１．概況

平成２３年上半期の１１９番通報は、総着信件数６，８６７件で昨年上半期より８７５件多くなっています。１ヶ月平均にすると約１，１４４件、１日平均では約３８件の着信となります。通報内容としては、救急が最も多く４，６４７件（６７．７%）でした。火災は１６１件（２．３%）で、そのほかの通報としては、救助２０件（０．３%)、警戒３２件（０．５%)、間違い３５７件(５．２%)、通報訓練等７９９件（１１．６%)、休日・夜間などの病院に関する問い合わせ等７５１件（１０．９%）となっており、悪戯と思われるものが１００件（１．５%）でした。

（別表Ⅱ－１、別図Ⅳ－１参照）

２．月別の着信状況

月別での着信件数の最も多かったのは１月の１，４８７件、逆に最も少なかったのは６月の９８０件でした。救急通報では、最も多かったのは１月の９７９件、逆に最も少なかったのは６月の６８４件で、月平均約７７５件でした。火災通報では、最も多かったのは４月の４６件、逆に最も少なかったのは６月の８件で、月平均約２７件でした。

（別表Ⅱ－２、別図Ⅳ－２参照）

３．電話種別による通報状況

災害別の通報状況として、固定電話（IP 電話含む）と携帯電話の比率では、救助、火災、警戒が救急に比べ携帯電話の比率が高くなっています。

屋外で発見される場合の多い交通事故等や火災、たき火といった多くの人の目につきやすいものと、急病など屋内で発生することが多い救急との違いが現れています。

（別表Ⅱ－３、Ⅱ－４、別図Ⅳ－３、Ⅳ―４参照）

４．携帯電話からの着信状況

携帯電話からの１１９番通報は２，０２２件で、全着信件数の約２９％でした。携帯電話で１１９番通報されますと、その場所により必ずしも、電話をされた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外の通報が着信した場合には、その地区を管轄する消防本部に電話を相互に転送し、対応します。これを携帯電話の消防機関別転送処理状況として、別表Ⅳ―６に表しています。上半期の他の消防機関との転送処理件数は３８件でした。

（別表Ⅱ－３、Ⅱ－５、別図Ⅳ－３参照）

５．時間帯別１１９番通報の着信状況

時間帯別１１９番通報の着信件数は、活動時間帯(午前８時頃～午後９時)に大半を占めており、睡眠時間帯（午後１０時～午前６時）では午前２時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。

（別図Ⅳ－５参照）

別表Ⅱ－１　　１１９番着信件数の推移（上半期）

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
平成１９年	152	4,253	34	50	508	51	456	526	6,030
平成２０年	92	4,049	30	57	505	70	373	570	5,746
平成２１年	134	4,014	25	45	540	71	365	579	5,773
平成２２年	90	4,099	26	34	527	60	358	798	5,992
平成２３年	161	4,647	20	32	751	100	357	799	6,867

別表Ⅱ－２　　月別１１９番着信状況（上半期）

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪　戯	間違い	訓練等	合　計
１　月	23	979	4	17	295	14	66	89	1,487
２　月	20	715	2	1	87	20	52	132	1,029
３　月	35	784	5	1	100	25	64	181	1,195
４　月	46	734	3	2	106	8	58	122	1,079
５　月	29	751	2	4	89	19	55	148	1,097
６　月	8	684	4	7	74	14	62	127	980
合　計	161	4,647	20	32	751	100	357	799	6,867
月平均	26.8	774.5	3.3	5.3	125.2	16.6	59.5	133.2	1144.5

別表Ⅱ－３　　電話種別による１１９番着信件数の推移（上半期）

	固定電話からの着信件数	携帯電話からの着信件数	ＩＰ電　話	合　　計
平成１９年	４，３２３	１，４６５	２４２	６，０３０
平成２０年	３，９１３	１，４５８	３７５	５，７４６
平成２１年	３，５７３	１，５０８	６９２	５，７７３
平成２２年	３，４７２	１，６２７	８９３	５，９９２
平成２３年	３，５９２	２，０２２	１，２５３	６，８６７

別表Ⅱ－４　　電話種別の通報状況（上半期）

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	悪戯	間違い	訓練等	合計
固定電話	44	2,481	8	11	227	37	139	645	3,592
携帯電話	85	1,204	11	12	412	48	157	93	2,022
ＩＰ電話	32	962	1	9	112	15	61	61	1,253
総　合　計	161	4,647	20	32	751	100	357	799	6,867
携帯電話比率	53%	26%	55%	38%	55%	48%	44%	12%	

別表Ⅱ－５　　携帯電話からの着信状況（上半期）

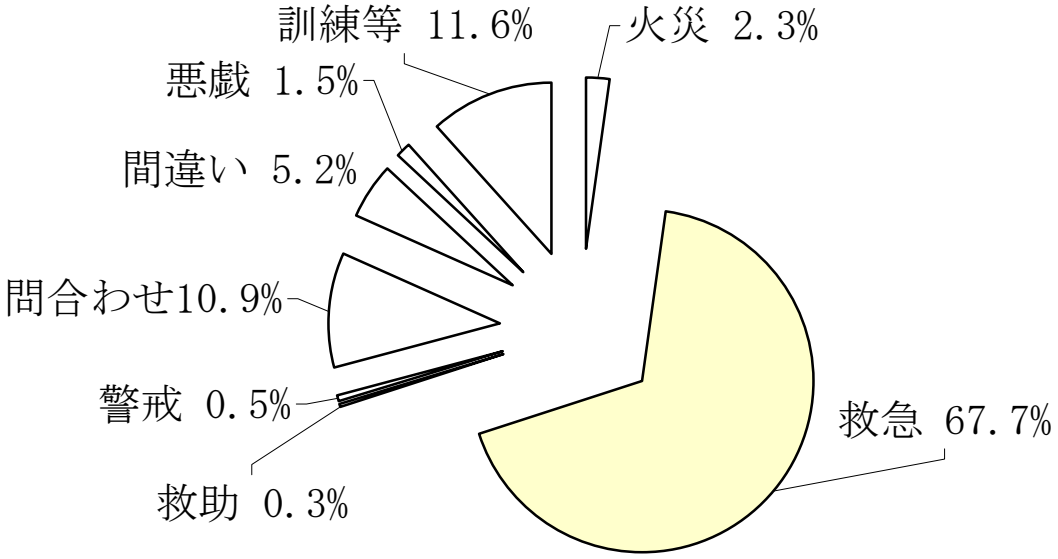
西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
２，０１４	８	２，０２２	３０

別表Ⅱ－６　　携帯電話の消防機関別転送状況（上半期）

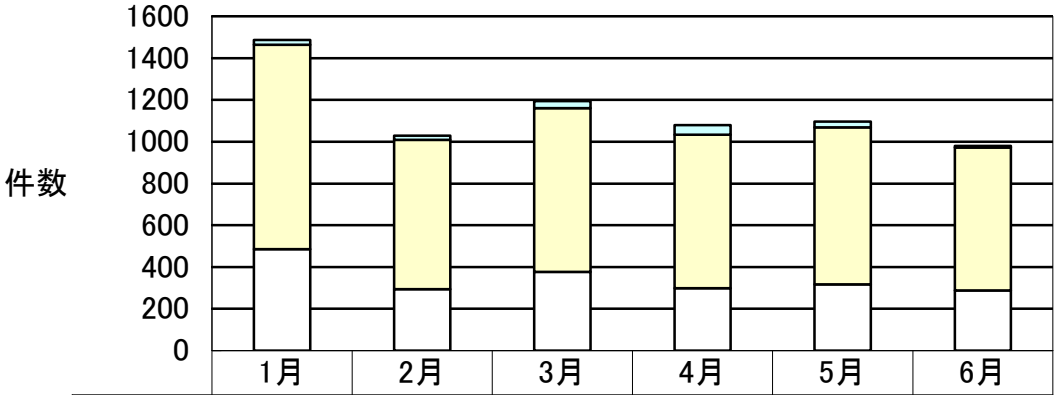
他の消防機関から転送を受信した件数				
消防	火災	救急	その他	合計
松　江		4		4
安　来		1		1
雲　南				
東　部				
中　部		1	2	3
新　見				
真　庭				
津　山				
備　北				
合　計		6	2	8

他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計
松　江	2	19	1	22
安　来	2	3		5
雲　南				
東　部				
中　部		2		2
新　見				
真　庭		1		1
津　山				
備　北				
合　計	4	25	1	30

別図Ⅳ―１　　通報内容別着信状況

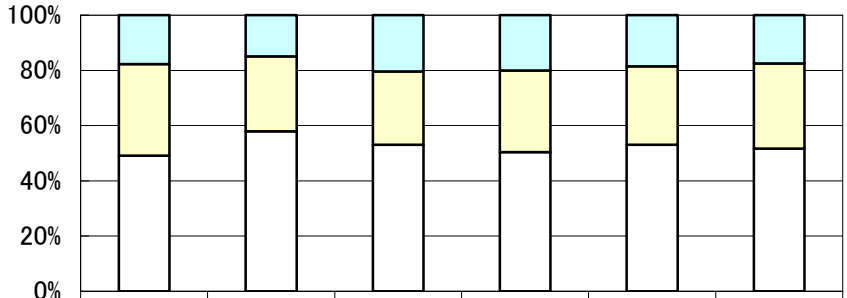


別図Ⅳ―２　　月別着信状況



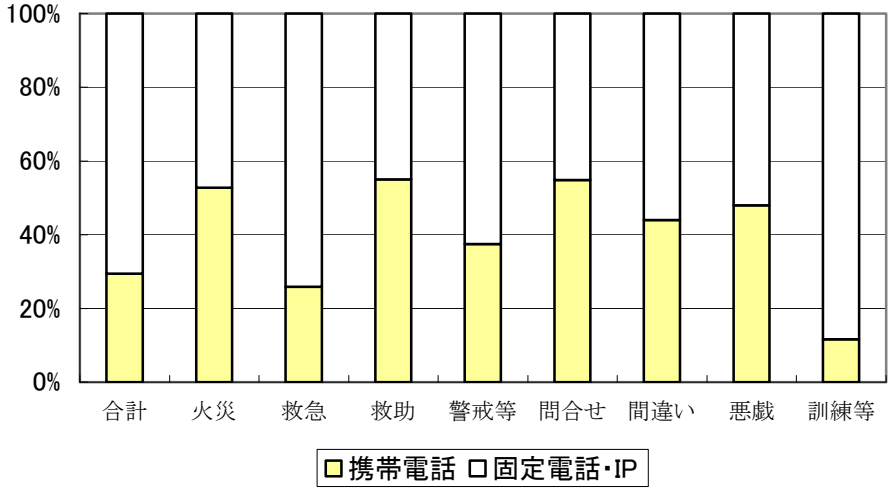
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
□火災	23	20	35	46	29	8
□救急	979	715	784	734	751	684
□その他	485	294	376	299	317	288

別図Ⅳ―３　　固定電話、携帯電話、IP 電話からの着信比率

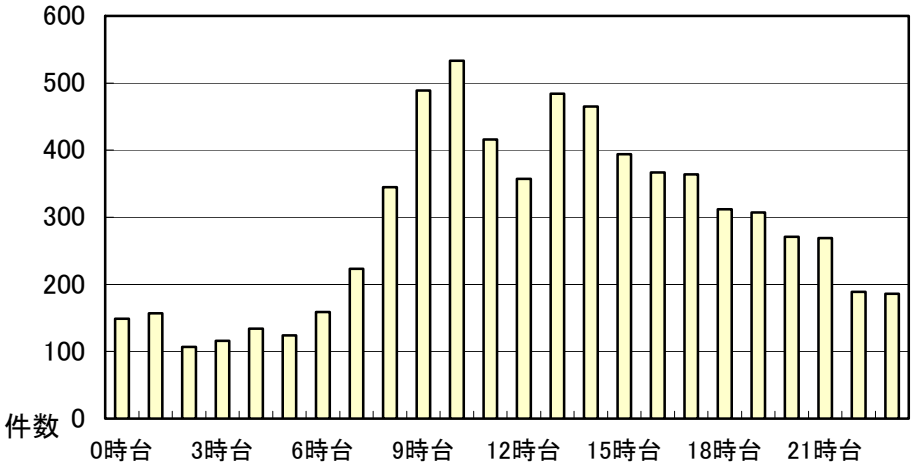


	1月	2月	3月	4月	5月	6月
IP電話	264	154	244	216	204	171
携帯電話	493	279	317	319	311	303
固定電話	730	596	634	544	582	506

別図Ⅳ―４　　災害別の固定電話、携帯電話からの着信比率



別図Ⅳ―５　　時間帯別着信状況



消したはず
決めつけないで
もう一度

平成23年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド　0859－22－0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

名　称	所　在　地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859－35－1951
米子消防署	米子市冨士見町1丁目103番地1	683-0055	0859－39－0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生5丁目8番5号	683-0003	0859－39－0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859－39－6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859－39－9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859－47－0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859－48－2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859－39－5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3132	0858－49－3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859－77－2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859－77－1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災・・・・・・・・・・・ 予防課予防係　0859－35－1954

救急救助・・・・・・・ 警防課救急救助係　0859－35－1959

119番着信状況・・指令課指令係　0859－35－1960

平成23年8月発行

〒683－0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL　0859－35－1951（代）